

シティ・プロモーションに関する課題

(1) 人口に関する課題

- ・人口増加が続くがすでに高齢化は進展しており、将来の人口減少、さらなる少子高齢化の進行に備える必要がある。特に、生産年齢人口の減少による地域経済の縮小、財政状況の圧迫は避けられず、年少人口、生産年齢人口、高齢者人口の構成比を将来にわたりバランスよく保ち続けることが課題と考えられる。

(2) 転入・転出、居住に関する課題

- ・住宅が手狭になり、住み替えを希望する世帯について、愛着があるほど「市内で住み替えたい」と回答した割合が多い。反対に、愛着が低ければ低いほど、「市外で住み替えたい」と回答する割合が多いことから、愛着の醸成は課題と考えられる。
- ・転出者の約7割が、将来、機会があれば朝霞に戻りたいと回答している。また、転出理由として最多の回答は「通勤・通学時間が長い」であり、その他の回答の選択は少なかったことから、本市を転出した者に対しても、再度引き戻す潜在的な可能性があるものといえる。
- ・地域とのつながりについては、「子どもを通じたつながり」や「近所づきあい」などによるつながりを持っているが、まちづくりへのかかわりとしても取り組みたい項目について84.2%が何かしらの選択肢を選んしており、地域でのつながり、まちづくりを通じた愛着の醸成が課題といえる。

(3) 愛着、誇りに関する課題

- ・愛着や誇りを感じている人は、住環境や交通利便性と自然環境をその理由としてあげており、市民まつり彩夏祭を誇りに感じている。また、彩夏祭による地域の一体感や、鳴子踊りなどを通じたつながりが愛着となっているといえる。